

学会記事

第9回徳島医学会賞受賞者紹介

徳島医学会賞は、医学研究の発展と奨励を目的として、第217回徳島医学会平成10年度夏期総会（平成10年8月31日、阿波観光ホテル）から設けられることとなりました。年2回（夏期及び冬期）の総会での応募演題の中から最も優れた研究に対して各期ごとに大学関係者から1名、医師会関係者から1名に贈られます。

第9回徳島医学会賞は次の2名の方々の受賞が決定いたしました。両名の方々には第226回徳島医学会学術集会（冬期）授与式にて賞状並びに副賞（賞金10万円及び記念品）が授与されます。

尚、受賞論文は本号227ページ～235ページに掲載しております。

（大学関係者）



受賞者氏名：桑原知巳^{くわはらともみ}
 生年月日：昭和43年11月5日
 出身大学：徳島大学医学部
 所属：徳島大学大学院医学
 研究科生体制御医学
 講座分子細菌学分野
 研究内容：嫌気性菌のゲノム解析

受賞にあたり：

この度は第9回徳島医学会賞に選出していただき、喜びで一杯です。選考委員の先生方に深く御礼申し上げます。この研究が、少しでも感染防御に役立つことを願っています。本研究を進めるにあたり、富田製薬株式会社の玉川、服部および村上の3氏には大変お世話になりました。この場をお借りし、御礼申し上げます。

私は平成6年より徳島大学医学部細菌学講座に所属し、大西克成教授の指導のもと、嫌気性菌の病原因子の分子遺伝学的解析を行っています。昨年度から、「未来開拓研究推進事業・ゲノム微生物」のゲノムシーケンズプロジェクトに加えていただき、嫌気性菌のゲノム解析にも取り組んでおります。この度の徳島医学会では、諸先生方の感染防御に対する関心の高さを知ることができ、

今後の教育・研究の励みとなる学会となりました。本当にありがとうございました。今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

（医師会関係者）



受賞者氏名：岸 宏一^{きし ひろかず}
 生年月日：昭和41年10月5日
 出身大学：徳島大学医学部
 所属：徳島赤十字病院
 循環器科
 研究内容：21世紀の冠動脈インターベンション

受賞にあたり：

この度は、第9回徳島医学会賞に選出していただき有り難うございます。私は平成3年より、徳島赤十字病院循環器科に所属しております。私は循環器の中でも、冠動脈インターベンションを専門としております。以前はバルーンを用いた風船療法しかなく、治療困難な症例も経験しました。しかし、近年では冠動脈ステント、方向性粥腫切除術（DCA）や回転性粥腫切除術（ロータブレード）が使用可能となり、冠動脈インターベンションの適応は拡大してます。今後も、最新の冠動脈インターベンションの技術を安全に提供できるように努力を続けていくつもりです。